

5 収支の状況

(単位:円)

区 分		24年度	23年度	増 減	
収入	事業収入	受託事業収入	30,760,000		
		補助金収入			
		事業収入			
		小 計	30,760,000		
	事業外収入	雑入	13,400		
		小 計	13,400		
計		30,773,400			
支出	管理運営 事業費	人件費	15,652,723		
		施設管理費	7,437,714		
		事業費	3,422,284		
		小 計	26,512,721		
	本部負担金				
	計		26,512,721		
収 支 差 額		4,260,679			

※1 事業収入（物品販売収入）

※2 事業外収入（預金利子等）

6 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
開館日	年末年始(12/29～1/3)及び臨時休館日(ワックス清掃2日間)以外は開館。
利用料金	イベント参加費を無料で運営(食事付きイベントの食事代やバス代は参加者が実費負担)
イベント関係	<p>展示、観察会等の充実</p> <p>1 企画展(夏、秋の2回) ◎夏の企画展 日野川の自然といきもの ◎秋の企画展 鳥取県の希少植物</p> <p>2 公募展(1回) ちぎり絵、絵画などの創作作品をとおして大山の自然や歴史の素晴らしさを紹介。</p> <p>3 一般展示(7回)</p> <p>4 出前講座(8回) 大山についてより理解を深める「大山あれこれ勉強会」、館職員が直接施設へ出向き、大山の自然や歴史などの講演等を行う「移動大山自然歴史館」</p> <p>5 ワークショップ(5回) 夏休みの子供たちを対象にした作品づくり企画など。</p> <p>6 芸術文化講座(3回) 地元の語り部による大山周辺の昔話とわらべ歌を楽しむ。</p> <p>7 野外観察会等の事業(22回) 春・夏・秋の毎週日曜日に行った大山自然観察会、大山道再発見事業としての自然観察会(夏・秋)、野鳥や昆虫などの専門分野別観察会など。</p>

7 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口での直接対応 ・事業開催後のアンケート ・ホームページからの意見、問い合わせ受付
------------	---

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
イベントを継続してほしい	要望のあったイベントは、本年度も継続開催している
観察会の時に、今後のイベント等の情報が知りたい	観察会等のイベント終了後、今後のイベントについてチラシを配布する等の情報提供を行っている

利用者からの積極的な評価

- ・自然観察会では、いろいろな分野の解説を聞くことができよい。
- ・指導員の話が分かりやすい、おもしろい。
- ・いろいろな季節に開催されるため、季節による変化を感じることができよい。
- ・大山では、登山しかなかったが、それ以外の楽しみを知ることができた。
- ・大山の歴史や文化に触れることが出来てよかった。
- ・(写真教室の)講義が良かった。今後も続けてほしい。
- ・季節に応じた展示がしてあって良い。
- ・(主催事業「民話のタベ」で)昔の民話の良さに触れ、昔遊びで楽しみ、笑顔が絶えず、普段では頂けない珍しいおいしい精進料理をいただき、とても幸せなひとときをすごしました。子供たちにも聞かせてやりたい気持ちになりました。
- ・入館料無料で施設がきれいで良い。

8 指定管理者による自己点検

[成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項]

- 1 新規展示の充実
- 2 活動プログラムの充実
- 3 大山に関わる調査活動
- 4 施設の保全、環境整備
- 5 地域との連携の充実

[現在、苦慮している事項][今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項]

[現在、苦慮している事項]

- 1 施設管理
 - ・リニューアル後の経年劣化による施設設備の老朽化(機器故障、施設の破損)
- 2 事業等
 - ・地形地質・植物・動物・歴史各分野における指導員の確保

[今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項]

- 1 施設管理
 - ・照明設備のLED化による環境負荷の軽減
- 2 事業等
 - ・新規プログラムの開発
 - ・大山に関わる調査活動
 - ・展示の充実

9 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	B	○エレベーター、自家用電気工作物、消防設備は業者による定期点検を実施している。 ○展示設備は毎日3回、職員が点検している。 ○保安警備は専門業者へ委託し、対応している。 ○清掃は専門業者へ委託し、日常清掃は年間120日、定期清掃は年2回行っている。 ○緊急時の対応等はマニュアルを作成し、迅速な対応に努めている。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免	B	○事業によっては昼食代を徴収しているが、基本的には無料で事業を行っている。 ○苦情等のトラブルの未然防止と迷惑行為について対応マニュアルを作成し、適正な対応に努めている。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	B	○適切に管理されている。 ○付属設備・備品の貸出しは、していない。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	B	○休館日は年末年始及びワックス清掃2日間の臨時休館日のみとし、それ以外は開館している。また、夏休みの時期は閉館時間を通常より1時間30分延ばしている。イベント参加費を無料で運営している。 ○地形地質・植物・動物・歴史の各分野のエキスパートの方に指導員をお願いし、各事業を開催している。また、独自の資料(マップ)を作るなどして、サービスの向上に努めている。 ○野外活動等により、施設内の職員数が減った場合でも、各職員が利用者に必要なサービスを提供できるよう、日々、知識・資質の向上に努めている。 ○個人情報に関しては、担当者がデータを施錠できる場所に保管している。(電子データは無し) ○事業開催後のアンケートやホームページ等による意見・問い合わせをもとに、利用者の意見把握に努め、今後のイベント等の充実に努めている。
[収入支出の状況]	C	○委託業務を減らし直営で業務を行ったため事業費で乖離があった。 ○勘定科目の振分が監査用決算書と内部で使用している帳簿の間で整合していなかった。
[職員の配置]	B	○適正な人員配置がされている。
[社会的責任の遂行]	C	○男女共同参画推進企業の認定、TEASの認証、障がい者雇用等、県が推進している施策についての取り組みが行われていなかった。
総 括	B	○おおむね、協定書に沿って適切に管理運営が行われている。

《評価指標》 A: 協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

B: おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

C: 一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。

D: 協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。